



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 386

September 2023

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園
神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部内
TEL/FAX 078-230-8150
E-mail: info@jdg-kobe.org
URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

神戸日独協会主催

新任ドイツ総領事歓迎会のご案内

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館メラニー・ザクシンガー総領事様が9月にご着任になりました。神戸日独協会は総領事様をお迎えして歓迎会を開催します。歓迎会では総領事様に「ドイツ統一33年」についてご講演をしていただきます。是非ともご参加をして、新総領事様と親しくご歓談をしていただきたく、ご案内いたします。

日時：2023年11月5日(日) 17:30~20:00

会場：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール
神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

会費：4000円（ケータリング、飲物は各自払い）
当日会場にてお支払いください。

申込：10月31日(火)までに電話・ファックス(078-230-8150) 又はメール(info@jdg-kobe.org)にて事務室へ。

Empfang für die neue deutsche Generalkonsulin

Einen „Empfang für Frau Generalkonsulin Melanie Saxinger“ veranstaltet die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe am Anfang November.

◇Datum : 5. November 2023 (Son.) 17:30 – 20:00

◇Ort: Halle von Kobe Regatta & Athletic Club
(Yahata-Dori 2-1-20, Kobe-Chuoku)

◇Kosten: 4000 Yen

ドイツ語講座・ドイツ文化教室2023年度第Ⅲ期開講

10月2日(月)よりドイツ語講座・ドイツ文化教室の2023年度第Ⅲ期が開講します。

ドイツへの旅行とドイツとの人的交流はようやくコロナ禍以前に復活してきました。ドイツ語を学び、ブラッシュアップをして、ドイツとの交流を楽しみましょう。

第Ⅲ期の開講授業の詳細については、同封のパンフレットをご覧ください。

ドイツ語講座は前期からの継続クラスもありますが、途中からの受講は可能ですので、奮ってご参加ください。

協会からのお願い「協会からの情報発信について」

協会より会員の皆様への平常のお知らせは、会報(毎月第4木曜日発行、紙面及びメール発信)と協会ホームページにて行っています。しかし日程的に急なお知らせは、会報メール発信網とホームページにて行っています。そのために会報を紙面にて受けていただける方には情報が十分には達せられなく、お詫びを申し上げます。会員全員に郵送による伝達は、経費上の問題と昨今の郵便事情の悪化(遅延)により、なるべく控えています。

また、会報の紙面発行も来年3月にて現在の兵庫県国際交流協会作業室での作業が印刷機の老朽化のためにできなくなります。

現在の時流ではIT技術を活用した情報発信・受信が主流だとは思いますが、しかし年配の会員の方々にはWebの利用が思うに任せない方もいらっしゃる、問題点も多くあります。現在、会報の発行そのものについて、発行形式をメール発信のみにする、現状維持などについて、早急に結論を出すべく協会では協議をしています。また並行して協会ではメール発信網の整備を行いますので、メールアドレスをまだお届けでない方は、是非ともお知らせください。

協会からの情報発信について10月の企画委員会にて協議を行いますので、是非ともご出席の上、ご意見を願います(10月の企画委員会については、9ページ参照)。

クリスマス祝賀会2023の予告

本年の「クリスマス祝賀会」の日程が決まりました。

日時: 2023年12月10日(日)17:00~

会場: 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール

祝賀会の前にドイツ文化教室担当の次郎丸智希理事のミニコンサートを開催し、祝賀会の内容については現在企画中です。企画についてご提案やご希望がありましたらお寄せください。具体案が決まり次第、ホームページや会報にてお知らせしますが、日程を是非ともご予定にお入れください。

ドイツ文化サロン「女性が支える国際交流」

第18回 『戦禍のウクライナから神戸へ避難して』に参加して

会員 吉川 充子

コロナ渦などで中断していたドイツ文化サロンの再開第1回目は、「神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部」との連携で、戦禍のウクライナから昨年4月に神戸市内に避難され、現在バレエ教室開催中のウクライナ出身のプロバレエダンサーのビクトリア・コスチュチェンコさんとパートナーの男性ダンサーのボグダン・チャバニウクさんをお招きしての交流会でした。

最初に映像で戦禍前の美しいウクライナと現在の悲惨な状況をご紹介頂きました。お二人の故郷『オデーサ』は、黒海沿岸の国際港町で神戸ともよく似ています。ユネスコ世界文化遺産にも登録されています。市内にあるオペラ・バレエ劇場は1810年に建設された世界の最も素晴らしい10劇場の一つに入ります。かつての美しい町は、今は各地で戦争の傷跡が見られます。説明して下さるお二人の姿を前にして、改めて戦争の悲惨さを痛感しました。

その後美味しいケーキ付のコーヒーを楽しみ、同じテーブルの皆さんと交流しました。

続いて、お二人のバレエの妙技の一端のご披露でした。ウクライナのプロのダンサーの舞をこんなに間近で見たのは生まれて初めてで、貴重な経験になりました。踊りの最後には、愛くるしいお嬢さんも登場し、お二人と一緒に可愛い踊りを披露してくれました。

それから、参加者の質問時間が設けられました。報道では知り得ない興味深い内容でしたので、いくつか紹介させていただきます。ウクライナ人の生の声が聞けてとても有意義でした。

- ① すでに何か月も神戸にお住まいですが、日常生活で困られたことはありますか？
— 全く別の星に来たようで、毎日新しいことが何かある。ボグダンさんは『電車の乗り方』で困った。ビクトリアさんは、日本の駐車禁止が判らず苦労した。日本の親切な友人が車を無償で貸してくれたが、駐車場が無くて困った。ウクライナでは、日本と違いどこでも駐車は可能である。
- ② 避難時に日本に来られた時の飛行機の運賃はどうなっていましたか？
— 毎週金曜日に、ワルシャワから東京へのフライトは、日本政府の援助でウクライナ人なら誰でも無料で利用できた。しかし、ウクライナに戻る時は、どうなるかととても心配です。
- ③ 今後、神戸でしたいことや、夢はありますか？
— 私達のバレエの経験を日本の子供達や大人達に伝えていきたい。神戸市にバレエのできる劇場がありません。いつの日か神戸に小さなバレエ劇場ができれば素晴らしいと思う。彼らの教室“Just Dance”で誰でも学べます(神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部<KR&AC>内)。
- ④ ウクライナはロシアの侵攻後、ロシア人の芸術を拒否していると聞いたことがある。バレエで言えば、3大バレエ曲を作曲したチャイコフスキーになると思うが、どう思いますか？
— チャイコフスキーは、ロシアの作曲家としてだけではなく、私達皆にプレゼントされた世界の作曲家である。拒否する人もいるが、文化に国境はない。私達は、拒否することは問題だと思う。
- ⑤ 大阪に新しくできたウクライナ料理店は？
— 「レストラン ウクライナ ジャパン」です。場所は大阪市阿倍野区阪南町1丁目51-6 (<https://restaurant-ukraine.jp>) です。

最後に、柘田会長の「地域に根差した交流団体として今後も活動したい」というご挨拶で閉会しました。このような機会を設けてくださったKR&ACと神戸日独協会の皆様に感謝します。

会員サークル

新規会員サークル紹介

ハントアルバイトの会（ポーセラーツ）

これまで協会では女性会員及び会員夫人による手芸の会などを不定期に開催してきました。参加者から毎月定期的に手仕事による製品作りをしようとの声が上がリ、「会員サークル」として11月より活動することになりました。

この会は、カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きします。初めの3回は磁器への絵付けの基礎講座として、急須などの和風ティーセットに転写紙による絵付けを教えてください。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん

開催日時：毎月第4日曜日14:00～16:00

第1回は11月26日です

開催場所：神戸日独協会事務室兼教室

会費：3000円（材料費＋窯焼き代＋道具使用料）

参加条件：一般公開ですので、神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込：毎月第3水曜日までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail : info@jdg-kobe.org

ドイツ歌声サロン

10月より「ドイツの歌を歌う会」が復活します。

この会は、協会主催「ビアフェスト」でお馴染みの岩島佳子さんを講師として、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌や映画音楽(リリーマルレーン、会議は踊るなど)、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げます。

講師：岩島佳子さん

日時：2023年10月28日(土)13:30～15:00

場所：神戸リガッタアンドアスレチック倶楽部教室及び神戸日独協会事務室兼教室

参加費：2000円

参加条件：一般公開ですので、神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込：毎月第3金曜日までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail : info@jdg-kobe.org

第226回ドイツ語談話室

日時：2023年8月19日(土) 14:00～16:00

場所：KR&AC内 神戸日独協会会議室

テーマ：私は持続可能な開発目標(SDGs)に対して何ができるか

今回の司会は井川伸子さんが担当され、自身参加されているカトリック教会の慈善活動のお話をされた。神戸のカトリック教会では、毎月ホームレスの方々への生活サポート活動を、11のカトリック教会で交代にしている。また、ご自身でも、エコバッグの持参、3R運動(リサイクル・リデュース・リユース)、車を使わず歩く、エアコンの不使用、等の実践をされている。

以下に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

- 漁業資源の減少に対して、不要になった貝殻を集め、これらをまとめて海底に沈め、人工漁礁を作ることによって多くの魚の繁殖を計る。
- 微細化したプラスチックごみを魚が食べ、その魚を人が食べるといった不健全なサイクルを断つことが必要である。
- 養殖魚を増やして魚全体の減少を食い止めることが必要。現に、我々が食べている魚は、養殖によるものが多くなってきている。
- 海的环境汚染や微小プラスチックゴミのせいで、わかめやノリの生産が打撃を受けている。こうした汚染を防ぐ対策が必要。
- 環境問題はグローバルに考えて、具体的に地域にあった対策を実行することが大切。
- 京都・大阪・神戸の三都市がお互いに協力して行動すれば、東京圏を超えて経済発展が向上するのだが、なぜかこれら三都市はお互いに協力しようとはしない。
- SDGsの目標はすべて良い目標ではあるが、多くは完全な実現が難しい。このため、完全ではなくともバランスの取れた目標実現を目指すのも良い事である。
- 暑さ対策としてクーラーの使用が勧められているが、その使用は必要最小限にとどめるべき。クーラーに頼るのは、健康の害になる。
- 市場やスーパーマーケットには、多くの季節はずれの野菜や果物が並んでいる。温室栽培普及のせいである。典型的なものにイチゴがある。今やイチゴのシーズンは5月でなくクリスマスの時期である。
- 温室栽培の為のエネルギーは、地球環境に負荷を与える。できるだけ季節はずれの野菜・果物を買わないようにしよう。
- 今の子供たちにとって、野菜や果物の季節は、自然の季節ではなく、市場やスーパーマーケットに出回る時がその季節である。

今後のドイツ語談話室の予定

第228回 2023年10月21日(土) 14:00～16:00 テーマ：スポーツ

Protokoll der 226. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 19. August 2023, 14 bis 16 Uhr

Thema: SDGs-Was kann man tun?

Dieses Mal hatte Frau Nobuko Ikawa die Gesprächsleitung und sprach über karitative Aktivitäten der katholischen Kirche, an denen sie beteiligt ist. Elf katholische Kirchen in Kobe bieten monatlich abwechselnd Unterstützung für Obdachlose an. Bezüglich Umweltschutz setzt sie auf Öko-Tragetaschen, die 3R (Recycle, Reduce, Reuse) und verzichtet möglichst auf Auto, Klimaanlage etc.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Um dem Rückgang der Fischereiresourcen entgegenzuwirken, sollten unerwünschte Muscheln gesammelt und auf dem Meeresboden versenkt werden. Künstliche kleine Riffe können Fischen zum Brutplatz dienen.
- Es ist notwendig, ungesunde Kreisläufe zu durchbrechen. Plastikmüll kommt in die Meere, wird von Fischen gefressen und kommt wieder zur Nahrung der Menschen.
- Immer mehr Speisefisch kommt aus Zuchtbeständen. Die Zahl der gezüchteten Fische muss noch weiter erhöht werden, um den allgemeinen Rückgang der Fischbestände aufzuhalten
- Die Produktion von Speisealgen wie Wakame und Nori ist durch Umweltverschmutzung und Mikroplastikabfälle im Meer gefährdet. Es sind Maßnahmen erforderlich, um diese Verschmutzung zu verhindern.
- Es ist wichtig, in Umweltfragen global zu denken und gleichzeitig sicherzustellen, dass die Maßnahmen speziell auf die lokalen Bedürfnisse zugeschnitten sind.
- Eine Zusammenarbeit der Städte Kyoto, Osaka und Kobe würde die ökonomische Entwicklung der Region fördern. Es könnte sogar der Großraum Tokio übertroffen werden, aber aus irgendwelchen Gründen versuchen diese drei Städte nicht, miteinander zu kooperieren.
- Obwohl alle Ziele der SDGs sehr positiv sind, scheint es schwer, viele davon vollständig zu verwirklichen. Doch, wenn auch nicht ganz perfekt, eine ausgewogene Umsetzung der Ziele sollte jedenfalls angestrebt werden.
- Der Einsatz von Klimaanlage wird als Hitzeschutzmaßnahme empfohlen und sollte gleichzeitig aber auf ein notwendiges Minimum beschränkt werden. Zu starker Gebrauch kann auch gesundheitsschädlich sein.
- Der Verkauf von vielen Obst- und Gemüsesorten ist auf Märkten und in Supermärkten nicht mehr an deren jeweilige Saison gebunden. Dies ist auf den Gewächshausanbau zurückzuführen. Ein typisches Beispiel sind die Erdbeeren. Die Erdbeersaison ist nun nicht mehr der Mai, sondern die Weihnachtszeit.

-Die Energie für den Gewächshausanbau ist eine Belastung für die globale Umwelt. Obst und Gemüse sollten möglichst nicht außerhalb deren jeweiliger Saison gekauft werden.

-Für die Kinder von heute ist die Saison von Obst und Gemüse längst nicht mehr die natürliche Jahreszeit, sondern der Zeitpunkt, zu dem sie in den Supermärkten im Angebot stehen.

Nächste Treffen :

Samstag, 21. Oktober 2023, 14 bis 16 Uhr, Thema: Sport

Stammtisch mit Zoom と **Stammtisch** について

「Stammtisch」は神戸日独協会の伝統ある会員によるサークル活動でした。この伝統を絶やさないようにと「Stammtisch mit Zoom」がコロナ感染下に感染防止と外出自粛の中で催されてきました。しかしながら対面形式による集会・会合が一般的になりましたので、他方の「Stammtisch」と統合して、今秋からの開催を目指して現在新たな「Stammtisch」を模索中です。

ドイツでの“Stammtisch”のように飲み物や茶菓を取りながら、気楽に会員同士のご歓談をお楽しみいただく会を目指しています。

毎回テーマを決めるか、ネイティブの方とどのように交流するか、会場は、飲食は、などなど今後の形式・運営方法についてのご意見をお寄せください。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

イエナ便り —夏休みドイツ語コース—

会員 竹中ららら (イエナ在住)

今年のドイツは7月末から八月半ばまで雨が多く肌寒い日が続き、マフラーやジャケットを使う日がありました。9月になり暖かくなりバラやライラック(Flieder)をまだ見かけることができます。スーパーでは、西洋スグリ(Stachelbeeren)、黄色い食用ホオズキ(Judenkirschen, Blasenkirschen, Physalien)、ウチワサボテン(Kaktusfeigen)等日本ではあまり見られない果物が安価で売られています。

今回は夏休みに開催された「移民の背景をもつ子どものためのドイツ語コース」について書きます。このコースはイエナに移住した子どものために無料提供されたもので毎日3時間(9~12時)3週間、5歳から13歳までの約50人が参加しました。講師は全員で5人

で（ドイツ人講師3人、アルバニア人講師、私）、5グループに分けられました。コンセプトは„spielerlich Deutsch lernen”、遊びを通してドイツ語を身につけるのが目標です。

私は初めの3日間、ドイツ人講師と8、9歳の子ども15人のグループに入り言語レベルを把握し、その後レベルを上下に分け下のクラスを担当しました。参加者の大半はウクライナ出身、他はアラブ系、アフリカ系、東欧系諸国の子どもでした。私のクラスはウクライナ出身3人、シリア出身2人、リビア出身1人の全部で6人で、言語レベルはドイツ語で挨拶をしたり名前を尋ねたりできるというA0～A1（欧州言語共通参照枠の6段階：A1,A2,B1,B2,C1,C2）です。

遊びのルールをドイツ語で説明、理解することが前提で、私はウクライナ語やアラビア語が話せず、子どももドイツ語のみの説明では全て理解できないため、ジェスチャーや例を提示する等工夫しました。またクラスには一人、リビア出身の大学生が補助として入ってくれました。遊びは大抵一回目はルールの理解に時間がかかりましたが、二回目以降は子どもはすぐに遊びを思い出すことができました。一日3時間の授業の構成は講師自身に任されており、授業の前半は歌、遊び、単語や文法の練習、後半では個人に書く練習の課題を与えました。遊びの方法は、日本の小学校外国語活動（英語）で扱ったものをドイツ語に応用したり、ドイツで参加した成人向けワークショップで体験した遊びをアレンジしたりしました。一方でドイツ人講師が準備した遊びは私が知らないものが多く、日本とドイツでは遊びを通した外国語学習の方法論が異なることに気づきました。

子どもたちは初めは出身国ごとに固まっていたのですが、休み時間にサッカーをするなど自然な形で「ドイツ語」という共通言語を発見し交流をしている姿が見られました。例えば「僕がゴールキーパーをするよ」という文を„Ich bin Tor.“と表現する等、文法的には正しくないが子どもが第二言語としてのドイツ語をどのように身につけていくのかが分かりました。

ドイツでは「移民の背景をもつ学習者のドイツ語教育」が大きなテーマの一つで、学習者が話す言語（現在ならウクライナ語やアラビア語等）の知識を持つ講師は、意思疎通上大きな利点を持ちます。ただそれ以上にドイツ語教師の需要が高まっており、例えばイエナ大学大学院の修了生で、中国語、イタリア語、ベトナム語等を母語とした講師が公立学校や統合コースで正規採用されています。しかしドイツ語教師の需要とそれに対する予算が十分用意されているかはイコールではなく、今回の講師の仕事も私には最低料金の時給25ユーロ支給されましたが、補助で参加してくれた10名以上の学生には以前は一日16ユーロが支給されていましたが、予算不足のため今回以降謝礼はなくなりました。

子どもたちは全部で6週間の夏休みの半分の期間毎日コースに通い、頑張りの成果がドイツ語力向上に繋がり、自分の好きな食べ物、色、動物や得意なことを表現できるようになりました。最後の日にはクラスの全員で写真を撮り、握手をして別れました。いつか子どもたちとイエナの町でばったり会って、ドイツ語で会話できる日が来ることを思いながら、大変だったけれど実りのある夏休みが終わりました。

10月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画を提案して下さり、協会の活動は活発化しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時： 2023年10月14日(土)15:00～17:00 (時間が変更になっています)

場 所： 神戸日独協会事務室兼会議室

話 題： 10月以降の事業予定、協会の発信について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

引越・移転への寄付金のお礼

今回の引越・移転に際して役立ててほしいと次の方から寄付金をいただきました。

理事 Stefan Trummer=Fukada さん

いただいた寄付金は移転により必要な備品等の購入などに有意義に活用させていただきます。ありがとうございました、心よりお礼を申し上げます。

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。是非ともお手伝いをお願いします。次回の印刷と発送は10月26日(木)を予定しています。

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡ください(TEL 078-230-8150)。

印刷： 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より2時間程度

発送： 神戸日独協会にて、13:00～

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
10月14日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会事務室	当日参加可
10月21日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会事務室	当日参加可
10月28日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタアンドアスレチック倶楽部	10月20日(金)
11月5日(日) 17:30~20:00	新総領事歓迎会	神戸リガッタアンドアスレチック倶楽部 ホール	10月31日(火)